

## 災害廃棄物の試験焼却結果の概要

### 1 実施期間

平成 24 年 9 月 18 日（火）、19 日（水）〔2 日間〕

### 2 焼却方法

壬生町の一般家庭などから出されたごみと混合して焼却

### 3 焼却量

8.71 トン

18 日：木くず 4.65 トン	全体 35.96 トン	混合率 12.9%
19 日：木くず 4.06 トン	全体 35.22 トン	混合率 11.5%

### 4 搬出元

宮城県多賀城市（選別処理施設）

### 5 廃棄物の種類

木くず

### 6 地元住民等の延べ立会い者数

清掃センター 20 名〔18 日：17 名、19 日：3 名〕

環境センター 21 名〔18 日：15 名、19 日：6 名〕

### 7 測定結果の概要

#### ① 放射能濃度

- ・木くず、排ガス及び地下水（3 地点）の放射能濃度は、検出せず（検出限界値未満）でした。
- ・放流水の放射能濃度は 1.4～2.8Bq/L と非常に低い値であり、放射性物質汚染対処特措法に定める基準（1 に対して 0.016～0.038）を大きく下回りました。
- ・焼却灰の放射能濃度は同法に定める埋立基準値（8,000Bq/kg）の 1/10 程度となっています。

#### ② 空間放射線量率

- ・空間放射線量率については、清掃センターと環境センターの敷地境界及び周囲 9 地点の 1 週間前の値、試験焼却当日の木くずや焼却灰の搬入前後における値、清掃センターにおいて木くずを焼却中の 1 時間おきの値について測定しましたが、ほとんど変化は見られませんでした。

#### ③ ダイオキシン類濃度

- ・排ガスのダイオキシン類濃度は、ダイオキシン類対策特別措置法に定める基準値（1 ng-TEQ/m<sup>3</sup>N）を大きく下回りました。

○ 放射能濃度

測定対象	試験焼却前 【1週間前】	試験焼却 【18日】	試験焼却 【19日】
木くず 〔Bq/kg〕	検出せず (<10, <10)	8.0	20.2
家庭ごみ 〔Bq/kg〕	23.0		
排ガス 〔Bq/m <sup>3</sup> 〕	検出せず (<0.13, <0.099)	検出せず (<0.13, <0.12)	
焼却灰 〔Bq/kg〕	840	820	730
放流水 〔Bq/L〕	2.8		1.4※
地下水 場内 〔Bq/L〕	検出せず (<0.65, <0.76)		検出せず※ (<0.61, <0.86)
地下水 ① 〔Bq/L〕	検出せず (<0.84, <0.83)		検出せず※ (<0.75, <0.68)
地下水 ② 〔Bq/L〕	検出せず (<0.83, <0.79)		検出せず※ (<0.63, <0.64)

※ ( ) 内は検出限界値であり、左側がセシウム 134、右側がセシウム 137 の値。

※ 試験焼却期間は、木くずと家庭ごみを混ぜた後の状態で測定。

※ 放流水及び地下水の測定日は9月20日。

○ 空間放射線量率

測定地点	試験焼却前 【1週間前】	試験焼却 【18日】	試験焼却 【19日】
木くず	0.04 μSv/hr	0.05 μSv/hr	0.05 μSv/hr
清掃センター敷地境界 及び周囲	0.06 μSv/hr ～0.12	0.06 μSv/hr ～0.13	0.06 μSv/hr ～0.13
環境センター敷地境界 及び周囲	0.08 μSv/hr ～0.11	0.08 μSv/hr ～0.11	0.08 μSv/hr ～0.11
焼却灰	0.25 μSv/hr	0.24 μSv/hr	0.22 μSv/hr
焼却灰運搬 車両側面	0.11 μSv/hr	0.10 μSv/hr ～0.11	0.11 μSv/hr

○ ダイオキシン類濃度

測定対象	試験焼却前 【1週間前】	試験焼却 【18日】	試験焼却 【19日】
排ガス 〔ng-TEQ/m <sup>3</sup> N〕	0.084		0.058